

たからもの

明石市立大久保北中学校 第3学年
学年通信 第7号
令和5年5月24日（水）

修学旅行、覚えてる？

みんなが楽しみにしていた修学旅行が終わりました。帰ってきて代休が明けたら、すぐに中間考査だったので、はるか以前のことに感じられるかも知れません。しかし、「楽しかった」「充実していた」記憶は確実に身体の内に残っていくはずですよ。

さて、以下に挙げるのは修学旅行の事前集会で実行委員の〇〇〇〇が呼びかけたメッセージです。覚えていますか？

いよいよ修学旅行まであと2日となりました。そして今日が修学旅行の事前集会の最後の日です。ワクワクする気持ちを抑えてこの1時間私語がなく、スムーズに行えるように一人一人が雰囲気をつくっていきましょう。

さて、新校舎の玄関にも貼られていた37回生の修学旅行スローガン、覚えることは出来ましたか？「東京へ行きーマウス〜224本のライラックを咲かせよう〜」です。いつスローガンって何だったっけ？と聞かれても答えられるようにしっかり覚えておきましょう。

具体的行動目標は「ルール、マナーを守る」「時間に余裕を持って行動する」「お互いを尊重し、周りを見た行動を心がける」です。どれも大切な目標ですが、「ルール、マナーを守る」は特に意識して欲しい目標です。今手元に大カバンがありますが、不要物が入っていませんか？この後、荷物チェックがあります。もしも、持ってきてしまった、または紛れ込んでいたという人がいたら自己申告をしましょう。お互いが気持ちよく3日間を過ごせるように、ルールやマナーを徹底しましょう。

3日間、楽しむときと静かにするときでメリハリを持って、37回生全員にとって良い思い出となるようにしましょう。

3日間を振り返るとほとんどの人が体調管理を心がけ、時間を意識して行動できたので大きな怪我やトラブルなく過ごすことが出来ていたと思います。このことは修学旅行だけで終わらせてはいけません。普段の学校生活でも意識することで正しいルーティン、習慣を身につけましょう。正しいルーティン、習慣は緊張する場面(例えば、総体や高等学校の入学試験など)で、落ち着いて力を発揮する支えとなります。

もちろん反省すべきこともあります。JR西明石駅での解散式では校長先生が今

後に期待を込めて「まだまだ成長の余地がある」とおっしゃっていました。新幹線の過ごし方などです。〇〇〇が呼びかけていたように「周りを見た行動」「楽しむときと静かにするとき」の見極めは大人でも難しいです。周囲の状況は常に変化します。子ども連れの方が乗ってきたり、疲れ果てた友達が座席で眠りについったり…。自分が楽しいときこそ、少し冷静になって周りを気遣える、そんな君たちであって欲しいと思います。まずは教室での過ごし方から見直しましょう。



オープンハイスクール続々

公立高校、私立高校とともに続々とオープンハイスクールの案内が届いています。37回生の中にも、もうすでに参加した人たちがいます。参加の際には安全やマナーに気を配り、高校の敷地だけではなく道中も受験生の意識を持って行動しましょう。また、参加は自分だけで決めるに、おうちの人や部活動の顧問の先生にも前もって相談しましょう。(運動部活動は総合体育大会前の大事な時期です)